

カツゲン BIO NAVI システム

活性汚泥などの生物処理設備では様々なバクテリアが生息し汚水の浄化活動をおこなっていますが、流入する汚水性状や設備環境によってバクテリアは自然に淘汰され、その環境に適合したバクテリアだけが生き残って行きます。その生え抜きのバクテリアを単離培養、製剤化して生物処理設備に戻してやることで、排水処理は効率が良くなり処理が安定します。「BIO NAVI (バイオナビゲーションシステム)」はこういった理念のもと開発されました。作業手順は以下の通りです。

1、汚泥診断

汚泥性状分析および処理状況の調査をいたします。

流入水の水質・排水量・生物処理形式・エアレーション量・処理フロー・放流水の水質などの情報を頂いたうえで、BIO NAVI システムが適用出来るか診断させていただきます。汚泥性状分析は有料になりますが処理状況調査は無料です。

2、汚泥採取

単離培養のための種汚泥を5L程度採取いたします。

3、単離培養

培養装置で貴社排水処理設備生え抜きのバチルス菌を培養・増殖させます。

4、製剤化

20Lキュービテナー入りで製剤化された「かつげん BB-BIO NAVI」をお届けいたします。

5、納入後は定期的に汚泥診断・サンプル採取をしてナビゲーションいたします。

汚泥診断はユーザー割引価格にて実施させていただきます。

◇ BIO NAVI システム商品には下のシールが張られます。◇



協和水処理サービス株式会社

TEL 0480-61-7199

お客様固有のバージョン情報